

2025年1月

白井なおこ レポート VOL.25

日野・生活者ネットワークニュース 白井なおこREPORT 発行日:2025年1月5日
発行:日野・生活者ネットワーク 発行責任者:出沼恵美子
〒191-0062 日野市多摩平2-3-12 中央日石ビル4階
TEL:042-514-8695 FAX:042-514-8697 E-mail:hino-net@cap.ocn.ne.jp



旭が丘中央公園で開催された「たきび祭」に参加(2024.12.7)
童謡「たきび」で知られる詩人の巽聖歌(たつみ・せいか)さんは
旭が丘で晩年を過ごされました。巽聖歌さんの再来!?!とともに。



日常の「枠」を広げる防災対策 ～自助・共助をささえる公助の充実を～

2024年元旦には能登半島地震が起き、災害はいつでも起こりえることを痛感しました。あらゆる想定で備えていたとしても、その通りには運ばないのが現状かと思えます。結局行きつくところは、日常の人と人のつながりではないでしょうか。自分にできること、助け合うこと、それを支える日野市の公助のあり方とは— 2年前の質問に続き、取り組みを問い、提案につなげました。

個別避難計画の策定を急げ!

自分ひとりでは避難するのが困難な方がいます。現在、避難行動要支援者は約6300名。そのうち警察や消防などへ名簿を共有することに同意しているのは、半分以下です。**共有されていないと日頃の見守りや避難支援につながらない**ので、できるだけ同意を得たいところです。

日野市では名簿をもとに、浸水想定区域にお住いの方など、優先度が高い方から個別の避難計画を策定していますが、調整に時間を要することと、現在のところ**60件程**にとどまっています。体制を整え、速やかな策定を求めました。

つながる総合防災「訓練」を

日野市は年に一度、避難先となる小学校において、総合防災訓練を巡回実施しています。障がいのある方も参加されていますが、一般参加者との隔たりを感じます。求められているのは、

住民として共に経験値をあげる具体的な訓練ではないかと考え、事前に声を聞くことから進めよう求めました。

また、**指定避難所ごとの防災会**(地域自主防災会)も立ち上がっていますが、今や加入率が4割をきる自治会がベースです。新たな枠組みでとらえ、地域の市民団体など多様な主体をまきこめるよう、市にはそのつなぎ役を果たしてほしいです。



地域自主防災会一覧

「防災に関心はあるけれども何をしたらいいのか」という声に応えるためにも、**手作りハザードマップづくりのまち歩き**や、**非常用ポータブル発電機やかまどベンチ**を使った交流企画などのメニューを提案できるよう、そして実際に行う時の後押しを求めました。

日野ネットでも企画を考えますので、その際にはぜひご参加くださいね!



公園のベンチがいざという時はかまどに!
設置場所と使用申請・使用方法など、市のHPに
掲載を求めました。

